

配送計画最適化への活用など想定

三菱電機、位置情報サービスの「みちびき」対応開始

Edited By LogisticsToday On 2019/04/18



三菱電機（大阪市北区）は17日、自社が提供する位置情報などのサービスで準天頂衛星システム「みちびき」に対応したと発表した。

同社の業務アプリケーション基盤とその上で利用できる位置情報サービス「MAP」サービスで、フォルテ（青森市）が製造するみちびき対応製品を使用できるようにしたもので、同社サービスのユーザーは、より精度の高い位置情報サービスを利用できるようになる。

同社の業務アプリケーション基盤「三菱ビジネスプラットフォーム」では、産業機械の稼働状況の可視化、圃場の環境の可視化、社内の屋内環境の可視化などのIoTサービス、業務報告ツール、IPトランシーバーアプリ、インカムアプリなどのコミュニケーションツールなどを提供。

MAPでは、プラットフォームで提供するIoTデバイス、アプリケーションの位置情報機能を利用し、ウェブ上に現在地、移動履歴を表示する。行動計画を登録することで計画と実績を照合できることから、配送計画やルート訪問の最適化に活用できる。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/340642>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.